

「デジタルで人と地域をつなぐオンライン観光等推進事業」企画提案書作成等に関する質問及び回答

質問	回答
ツアープログラムの企画・造成支援及び販売について	
1 コロナ禍における適切なキャパシティなど、今後の販売に向けての検証のための経費として、ツアー運営経費の一部に事業費を充当してもよいでしょうか。	オンラインツアー、バスツアーとも、ツアー運営経費への事業費の充当は不可とします。
2 ツアープログラム造成に関して、どの段階で目標達成となるかお聞かせください。具体的には「バスツアーを企画したが、コロナ影響等で催行できなかった」というケースがどうなるか伺いたいです。	販売された段階で、本数(アウトプット)としてカウントします。ただし、参加者数(アウトカム)の目標も設定しておりますので、こちらの目標達成に向けた取組みをご検討いただく必要があります。
3 バスツアーの企画には、最少催行人数を設定してもよいでしょうか。また、未実施となった場合の扱いについてお示しください。	最少催行人数は設定可とします。未実施となった場合の扱いについては、上記2の回答をご参照ください。
4 バスツアーについて、「日帰り商品」と「宿泊商品」の想定比率を教えてください。	想定比率はありません。
5 ツアープログラム造成に向けて地域を調べたうえで、オンラインツアーは実施するがバスツアーは不実施という地域があっても良いという解釈で間違いはないでしょうか。また、別表に記載のある地域でどちらの実施も難しいという判断があっても良いか伺いたいです。	オンラインツアーとバスツアーの実施地域は一致している必要はありません。また、実施地域については別表に記載のある地域を中心としますが、東北のその他の地域での実施も差し支えありません。
6 「オンラインツアーに連動した現地を訪問するバスツアー」について、具体的な連動のイメージをお持ちでしたらご教示いただけますでしょうか。(バスツアーに参加できない人が代わりに楽しめるコンテンツとしてオンラインツアーを実施する、オンラインツアーをバスツアーのイベントのような位置づけで実施する など)	オンラインツアーで現地への興味を喚起し、バスツアーで現地を訪問していただくという流れを想定しています。ただし、地場産品の消費拡大や東北のファン創出による交流人口拡大といった本事業の目的達成に資する取組みであれば、その他の想定でも差し支えありません。
オンライン観光ネットワークの形成及び人材育成について	
7 「オンライン観光ネットワーク」については今年度(単年度)の取組みという理解で間違いはないでしょうか。	「オンライン観光ネットワーク」の取組みも含め、本事業は単年度事業ですが、次年度以降の事業継続も想定しています。
考慮する目標数値及び目指す効果目標について(アウトプット)	
8 ツアー本数の20本と30本は、例えば、4コース×5回催行、5コース×6回催行という組み合わせる形でよいでしょうか。	同内容のツアーは催行回数に関わらず1本と扱います。オンラインツアーは20本(=20種)、バスツアーは30本(=30種)となります。
9 1つのツアーを日本人向け、外国人向けと分けて、2本とカウントしてもよいでしょうか。	対象、言語が異なるのみで、同内容のツアーであれば1本と扱います。
考慮する目標数値及び目指す効果目標について(アウトカム)	
10 ユニークな合計1,400人ではなく、バスツアーの600人が、オンラインの800人に含まれる形、つまりのべ1,400人でもよいでしょうか。	「ユニーク」ではなく「延べ」とします。ただし、オンラインツアーの800人とバスツアーの600人は、それぞれの数値目標となりますので、合計1,400人ではない点にご注意ください。
提出書類について	
11 共同企業体で応募の場合、市税や消費税に関する証明書は、代表となる組織の分だけでよいのか。構成員すべての分が必要か？	代表となる法人の分のみで結構です。
予算について	
12 1,580万の予算で経費として見なされないものはありますか？(オンラインシステム代やバス代、土産代などは含めて問題ないか)	事業に使用する備品(PC・カメラなど)はリース費のみ認めます。ツアー実施におけるバス代や土産代は、ツアー運営経費にあたるため、ツアーの収益により賄うこととし、事業費は充当できません。